

I ふるさとの自然を愛し住みよい環境をつくるまちづくり

1 自然環境

新エネルギー導入促進 300万円

(担当：地域振興課 地域振興係)

地球温暖化防止へ寄与する、クリーンなエネルギーの導入を推進することにより、電気、住宅、素材、燃料などの幅広い産業部門において新規市場や雇用の創出効果に取り組みます。

■主な経費

住宅用太陽光発電設備導入補助金	150万円
住宅用エコ給湯機器導入補助金	150万円

財源

町の負担額 300万円

河川的环境整備 1,052万円

(担当:建設課 管理係)

町内の河川の草刈りや堆積土砂を取除くなど河川的环境整備をします。

■主な経費

河川愛護団や業者に委託	770万円
堆積土砂の取除き工事費	282万円

財源

県の負担額 540万円
町の負担額 512万円

土地開発の事前審査や規制

(担当：関係各課)

【開発行為の事前審査】

津和野町で、建物の建設や分譲などを行う目的で10,000㎡以上（景観地区内は3,000㎡）の土地に対して「開発行為」を行う場合は、都市計画法により、島根県知事の許可が必要ですので、事前にご相談ください。・・・・・・（担当：地域振興課）

【土地開発の規制など】

- 農用地・農業振興地域等に関する規制・・・・（担当：農林課農業振興係・農業委員会）
- 森林伐採等に関する規制・・・・・・（担当：農林課林業振興係）
- 自然公園等に関する規制・・・・・・（担当：商工観光課景観対策係）
- 河川・道路に関する規制・・・・・・（担当：建設課管理係）
- 都市計画区域内の規制・・・・・・（担当：建設課管理係）
- 埋蔵文化財包蔵地に関する規制・・・・・・（担当：教育委員会文化財係）

I ふるさとの自然を愛し住みよい環境をつくるまちづくり

2 町並みの整備

都市計画

84万円

(担当:建設課 管理係)

高崎亀井邸跡児童公園の借上げ料に支出します。

■主な事業

児童公園賃借料 84万円

財源

町の負担額 84万円



歴史的風致維持向上計画策定【新規】

391万円

(担当:営業課 情報戦略係)

本町の歴史的建造物や伝統行事など、地域固有の風情、情緒、たたずまいを醸し出している良好な環境を維持向上させ、活用を図りながら後世に継承するための10カ年計画を策定します。

■主な経費

業務委託料 268万円
旅費・報償費 71万円
印刷製本等 52万円

財源

町の負担額 391万円
(内借入金 390万円)

I ふるさとの自然を愛し住みよい環境をつくるまちづくり

3 公園と緑地

日原カントリーパークの管理 259万円

(担当:建設課 管理係)

日原カントリーパークの維持管理委託をします。

■主な事業

カントリーパークの維持管理委託料	180万円
カントリーパーク内浄化槽保守点検委託料	52万円
その他	27万円

財源

町の負担額 259万円



堤田農村公園の管理 10万円

(担当:農林課 農業係)

県営中山間地域総合整備事業により平成18年度に完成した堤田農村公園の維持管理を地元自治会へ委託します。

島根県指定天然記念物「大元神社跡の樟」に隣接し、バイオトイレ、駐車場、東屋、ヤギ舎が整備されています

■主な事業

農村公園の維持管理委託料	0万円
(※堤田自治会においてトイレの清掃を含め無償で管理)	
公園内バイオトイレの浄化槽保守点検委託料	6万円
電気料・水道料	4万円

財源

町の負担額 10万円



I ふるさとの自然を愛し住みよい環境をつくるまちづくり

4 環境衛生

下水道運営事業 67万円

(担当：環境生活課 下水道係)

下水道事業を運営していくために必要な経費です。事業に必要な事務経費や下水道利子補給金などが含まれます。

■主な経費

下水道事業事務経費	64万円
下水道利子補給金	3万円

財源

下水道料金	67万円
-------	------

下水道施設維持管理事業 3,127万円

(担当：環境生活課 下水道係)

家庭や工場から排出された汚水は、道路などの地下に埋設された下水管を流れ、下水道処理場に送られます。処理場に集められた汚水は、微生物の働きによって基準値以下に浄化された後、滅菌消毒をして河川へ放流されます。また、汚水処理の過程で発生する汚泥は、濃縮や脱水した後セメント工場に運搬し、セメントの原料として再利用する計画です。

■主な経費

管渠の維持管理費	859万円
処理場の維持管理費	2,268万円

財源

下水道料金	3,127万円
-------	---------

■主な工事

中継マンホール修繕（4箇所）

下水道施設整備事業 2億485万円

(担当：環境生活課 下水道係)

公共用水域等の水質保全のため、現在津和野処理区において下水道整備を進めています。平成24年度からは町田地区の整備を開始します。

また、日原処理区の終末処理場（星の子ステーション）が供用開始後15年を経過し、耐用年数が近い機械・電気設備について改築に向けた長寿命化計画を策定します。

■主な事業

●詳細設計業務委託

業務場所：津和野町中座地内
実施予定工期：7月上旬～12月下旬

●星の子ステーション長寿命化計画策定業務委託

業務場所：津和野町日原地内
実施予定工期：7月上旬～2月下旬

●下水道現場技術業務委託

業務場所：津和野町森村、町田地内
実施予定工期：5月下旬～3月下旬

●町田地区下水道管布設工事

工事場所：津和野町町田地内
実施予定時期：4月下旬～3月下旬

●森村地区下水道管布設工事

工事場所：津和野町森村、町田地内
実施予定時期：6月中旬～1月下旬

財源

国の補助金	10,200万円
受益者負担金	15万円
町の借金	10,270万円

下水道施設建設費等償還金（借金の返済）**1億6,594万円**

（担当：環境生活課 下水道係）

下水道管や下水道終末処理場を建設するために借りたお金を返済します。返済金の一部は、国から補てんされます。

■主な経費

借金の返済金
1億6,594万円

財源

国からの交付額	9,413万円	受益者負担金	495万円
下水道料金 ⁴	486万円	町の負担額	6,200万円

農業集落排水事業**545万円**

（担当：環境生活課 下水係）

●農業集落排水施設の維持管理

農業集落排水施設は、津和野町和田地区に設置され、現在維持管理されています。また、この地区の各家庭から出た汚水は、鹿足郡事務組合（クリーンパル）で処理されます。

○農業集落排水事業施設建設等償還金

農業集落排水施設を建設するために借りたお金を返済します。償還金には、使用料及び町からの負担金の一部が充てられます。

■主な経費

施設維持費	31万円
施設管理・汚泥処理委託料	113万円
借金の返済金（元利）	401万円

財源

使用料	71万円
町の負担額	474万円

し尿処理（汲み取り）事業**1億405万円**

（担当：環境生活課 衛生係）

一般家庭のし尿の収集は、許可業者が各地域ごとの収集計画に基づいて実施しています。

また、し尿の収集は、町が電話などで受け付けし、益田市衛生公社へ連絡を行います。

■受付先

環境生活課 TEL72-0309

鹿足郡内のし尿と浄化槽汚泥の処理は、鹿足郡事務組合が一括して行っており、この運営費は、収集手数料と吉賀町、津和野町からの負担金により賄なわれています。

■主な経費

鹿足郡事務組合負担金 10,405万円

財源

町の負担額	10,405万円
-------	----------

再資源化等推進事業**395万円**

（担当：環境生活課 衛生係）

古紙等資源ごみの拠点回収を婦人会や自治会などの推進団体が主体となって行っています。限りある資源を有効利用し、ごみの排出量を削減するためにも徹底した分別と排出ルールを守ることが必要です。

また、生ごみの減量化を図るために生ごみ処理機の購入費の補助も行っています。

■主な経費

古紙回収委託料	312万円
古紙リサイクル補助金	74万円
生ごみ処理機・処理容器設置補助金	9万円

財源

町の負担額	395万円
-------	-------

ごみ収集事業

6,239万円

(担当：環境生活課 衛生係)

可燃ごみ、資源ごみ（容器包装プラスチック、商品プラスチック、缶・鉄、びん）と粗大ごみなどの一般廃棄物を円滑に収集します。ごみの減量化や効率的な収集運搬を行うためにも、ごみの分別を徹底し排出ルールを守ることも大切ですが、ごみになるものや使い捨てのものを買わないなど、ごみの減量化を推進するために一人ひとりができる事を実践することが重要です。

また、各地区においてごみステーションなどを設置し、日常管理をお願いしています。収集日の除雪や清掃など、適切な維持管理に努めるようご協力をお願いします。

□ ごみの出し方や分別方法は、別紙「ごみの分け方・出し方の手引書」をご覧ください。

■主な経費

町指定袋購入費	477万円
ごみカレンダー等印刷製本費	816万円
町指定袋販売手数料	143万円
集落ごみ集積施設設置補助金	58万円
塵芥収集処理業務委託料	4,745万円

財源

ごみ処理手数料 (町指定袋の販売収入など)	1,772万円
リサイクルカレンダー広告料	10万円
町の負担額	4,457万円

廃棄物広域処理事業

1億1,973万円

(担当：環境生活課 衛生係)

ごみの広域処理は、益田市・津和野町・吉賀町の1市2町で構成される益田地区広域市町村圏事務組合及び津和野町・吉賀町の2町で構成される鹿足郡不燃物処理組合で行っています。

可燃ごみは、益田市の益田地区広域クリーンセンターで焼却しており、そこで出た焼却灰は再度高熱で処理し建設資材等に再利用することで最終処分場の延命化を図っています。

資源ごみは、吉賀町の鹿足郡リサイクルプラザで選別、梱包の中間処理を行い、各々リサイクル処理業者へ運搬し再商品化されます。粗大ごみについても、リサイクルプラザで細かく破碎後、資源ごみと分別し、可燃性のものは焼却場の燃料として利用しています、どうしてもリサイクルできないものは、施設内の最終処理場で埋め立て処分します。

■主な経費

益田地区広域市町村圏事務組合負担金	6,595万円
鹿足郡不燃物処理組合負担金	5,378万円

財源

町の負担額	1億1,973万円
-------	-----------

公害対策事業

92万円

(担当：環境生活課 衛生係)

笹ヶ谷鉱害防止工事跡地（8ヶ所）の維持管理として、1ヶ所を2～3年に1回の頻度で草刈や伐採作業等を業者に委託して管理しています。また、公害認定患者の定期健康診断を県が年2回実施しています。

■主な経費

鉱害防止工事跡地草刈等委託料	87万円
公害患者扶助費	5万円

財源

町の負担額	92万円
-------	------

斎場維持管理事業

5,440万円

(担当：税務住民課 住民係)

町では、火葬業務の円滑な運営と適切な維持管理に努めます。

■主な経費

斎場維持管理事務費	90万円
燃料・光熱水費	261万円
斎場管理業務委託料	824万円
清掃・浄化槽管理等委託料	161万円
火葬炉修繕工事費	462万円
斎場増築工事等	3,598万円

斎場使用料	393万円
自動販売機手数料	3万円
合併特例債	3,370万円
町の負担額	1,674万円

環境衛生対策事業

691万円

(担当：環境生活課 衛生係)

●狂犬病予防対策

犬を飼育する人の中には、一部の無責任な飼い主のため、他人に迷惑をかけたり、人に危害を加えたりすることがあります。飼い主は、責任を持って適切な飼育をしましょう。

また、犬を飼育する場合は、生涯1回の登録と毎年1回の狂犬病予防注射を行うことが義務付けられています。

●合併処理浄化槽整備対策

合併処理浄化槽は、トイレや台所、風呂などの排水を敷地内で処理する設備のことです。

町では水質汚濁を防止し、生活環境を守り、公衆衛生を向上させるため浄化槽の設置費の一部を補助します。

●環境保全対策

町民、事業者、行政が協働して地球環境の保全を図るため、地球温暖化防止対策地域協議会（津和野町環境パートナーシップ会議）や水をきれいにする町民運動推進協議会を設置し、活動費として補助金を交付しています。

■主な経費

狂犬病予防注射等事務費	5万円
合併浄化槽設置補助金	647万円
島根県浄化槽普及管理センター負担	1万円
公衆トイレ管理委託料	14万円
地球温暖化防止対策推進事業補助	10万円
水をきれいにする町民運動補助金	14万円

財源

犬の登録手数料	26万円
狂犬病予防注射票交付手数料	12万円
循環型社会形成推進交付金	216万円
町の負担額	437万円

I ふるさとの自然を愛し住みよい環境をつくるまちづくり

5 道路と交通

道路橋梁等管理事業 2,230万円

(担当:建設課 公共土木係)

橋梁の長寿命化の為に点検、町道道路台帳更新や県営工事に対する負担金等へ支出します。

■主な経費

橋梁点検委託料	1,200万円
道路台帳更新業務委託料	400万円
県営工事負担金	630万円
津和野須佐線・須川谷日原線改良工事	
急傾斜地崩壊対策工事(扇町・上寺田地区)	
その他	

財源

国県の補助金	780万円
町の借金	1,060万円
町の負担額	390万円

道路維持管理・除雪委託事業 1,528万円

(担当:建設課 公共土木係)

町道の通年維持管理のための道路維持業務、道路愛護団や除雪作業委託料として支出します。

財源

町の負担額	1,528万円
-------	---------

道路維持工事 1,000万円

(担当:建設課 公共土木係)

舗装の修繕や側溝等の補修等、町道の通年維持管理や舗装のための工事費です。

財源

町の負担額	1,000万円
-------	---------

道路新設改良工事 2億6,745万円

(担当:建設課 公共土木係)

町道の改良や新しい町道を作る(笹ヶ谷線・木毛線・日原添谷線・高嶺線・平台線・円の谷線・日原停車場線・栴井谷線)ための経費です。

■主な経費

工事のための測量委託料	1,300万円
工事請負費	2億3,700万円
工事に必要な土地を買う公有財産購入費	220万円
工事に支障のある電柱や建物等の補償、補填及び賠償金	740万円
その他諸費用	785万円

財源

国県の補助金	1億5,730万円
町の借金	1億0,410万円
町の負担額	605万円

林道管理委託事業 **647万円**

(担当：建設課 管理係)

林道安蔵寺山線・笹山山入線・三子山線・奥山線等の維持管理のために草刈等を委託します。

財源

町の負担額 647万円

県営林道事業負担金等 **1,200万円**

(担当建設課 管理係)

大規模林道賦課金と、県営林道事業（林道耕田内美線・三子山線）の事業負担金として県へ支払います。

財源

町の負担額 1,200万円

県営林道新設改良事業 **290万円**

(担当：建設課 農林土木係)

県が施行する林道新設改良工事（笹山山入線・耕田内美線・三子山線）がスムーズに進められるために登記事務、土地の借上げ等に支出します。

■主な経費

登記事務費	288万円
土地借り上げ料	2万円

財源

町の負担額	90万円
県の補助金	200万円

交通安全対策費 **65万円**

(担当：総務財政課)

町内の学校、公民館、事業所等の団体や、町より委嘱しております「交通安全指導員」により構成する「津和野町交通安全推進協議会」を中心に、多くの町民のみなさんが参加される交通安全啓発活動等の事業費です。

また、交通安全の推進の為、様々な活動を行っておられる「交通安全母の会」への活動補助金や、安全運転管理者協会への負担金などがあります。

■主な経費

交通安全事業費	13万円
交通指導員報酬	40万円
交通安全母の会補助金	6万円
安全運転管理者協会負担金	6万円

財源

町の負担額 65万円

生活バス対策費 **6,908万円**

(担当：地域振興課地域振興係)

高齢化や、老人世帯の増加によって、車を運転しない方にとっては、通院・買物など町内での移動手段の確保は重要な課題です。現在は、町営バスの運行と、民間バス事業者の赤字路線の補填を行なっています。

■主な経費

生活バス確保路線補助金	1,037万円	※民間路線バスの赤字額の約5割を補助します。
町営バス運行業務委託料	5,871万円	※日原地域7系統、津和野地域7系統の運行経費です。

財源

町営バス運賃収入	619万円
県の補助金	423万円
町の負担額	5,866万円



I ふるさとの自然を愛し住みよい環境をつくるまちづくり

6 消防・防災・国民保護

消防・防災体制の充実

3億2,571万円

(担当：総務財政課)

消防関連経費については、主に消防団の運営経費及び消防設備の維持管理経費ですが、今年度は、消防ポンプ車1台、消防積載車1台の購入費を計上しています。

防災関連経費については、主に、自主防災組織の備蓄物資等の経費です。

■主な経費

消防団員人件費	1,815万円
消防団員出動手当	723万円
消防ポンプ自動車 消防積載車	3,326万円
新型インフルエンザ対策経費	10万円
自主防災組織 災害備蓄物資	30万円
総合防災情報システム管理運営負担金	99万円
広域市町村圏事務組合消防費負担金	23,330万円
コミュニティFM簡易放送設置事業	2,047万円
その他経費	1,191万円

財源

国、県負担額	25万円
町の負担額	2億4,074万円
地方債	8,320万円
その他	152万円



防犯灯維持管理

464万円

(担当課 総務財政課)

町が保有する防犯灯に必要な電気料と修繕費と新たに設置する費用です。

■主な経費

電気料	313万円
修繕費	120万円
新設費	31万円

財源

町の負担額	464万円
-------	-------

I ふるさとの自然を愛し住みよい環境をつくるまちづくり

7 住 宅

住宅管理費 2, 975万円

(担当：建設課 管理係)

町営住宅の維持管理に使用します。

■主な経費

通常の維持修繕費 2, 975万円

財 源

国の補助金	379万円
町の負担額	218万円
使用料	2,378万円

.....

■ 町営住宅入居の条件

- ・ 現に住宅に困窮していることが明らかな者であること。
- ・ 同居する親族が必要です。※単身入居が認められる場合もあります。
- ・ 所得の制限があります。

■ 申込み方法

入居者募集期間中に役場にある申込書に所要事項を記入し、住民票、所得証明書などを添付して建設課へ提出してください。

■ 入居者選考方法

申込み受付後に抽選をし、入居者を決定します。

.....

I ふるさとの自然を愛し住みよい環境をつくるまちづくり

8 生活用水

水道施設維持管理事業

3, 235万円

(担当：環境生活課 上水道係)

住民の皆さんに安心して安全な水を供給するため、水道施設の保守点検や修繕、清掃などを適切に行います。水道の使用量の検針を行うために使用者の住宅等に取り付けてある水道メーターは、計量法により8年毎に計画的に交換を行います。

また、蛇口から行う浄水の基本項目検査（毎月1回）のほか、水源池の原水の検査（年1回）と浄水の検査（年4回）を行い、水道水の安全性を確認します。

■主な経費

水道施設維持管理経費	1,832万円
水道メーター取替え	315万円
水道水質検査業務	1,088万円

財源

水道料 3,235万円

水道施設建設費等償還金（借金の返済）

1億9,578万円

(担当：環境生活課 上水道係)

配水池や水道管の敷設などの水道施設を建設するために借りたお金を返済します。

返済金の一部は、国から補てんされます。

■主な経費

借金の返済金	1億9,578万円
--------	-----------

財源

国からの交付額	8,715万円
水道料	8,736万円
町の負担金	2,127万円

簡易水道施設改良事業

1,315万円

(担当：環境生活課 上水道係)

道路改良工事や下水道工事を行うにあたり水道管が支障となるために移設する工事です。また、既存の水道施設の老朽化等に伴い改良する工事です。

■主な事業

● 県道津和野田万川線道路改良工事に伴う配水管移設工事

工事場所：津和野町部栄地内

工事予定時期：9月初旬～1月中旬

● 公共下水道工事に伴う配水管移設工事

工事場所：津和野町森村・町田地内

工事予定時期：5月中旬～3月下旬

● 浄水場ろ過砂補砂工事

工事場所：津和野町左鍔地内

工事予定時期：6月中旬～8月中旬

財源

県・町からの補償費	95万円
下水道会計からの補償費	300万円
水道料	920万円

簡易水道施設整備事業

2億3,406万円

(担当：環境生活課 上水道係)

簡易水道事業の経営の効率性、経営基盤の強化等を目的として、平成28年度までに町内の水道事業を一つに経営統合していきます。

平成23年度から平成26年度にかけて、簡易水道施設整備事業を行います。

- ・津和野簡易水道と旧下高野簡易水道の給水エリアの見直しを行い安定した水の供給を図るために配水連絡管の布設工事を行います。
- ・安全な水を供給するために浄水場に紫外線処理施設整備工事を行います。
- ・津和野簡易水道隣接の水道未普及地域に給水区域拡張工事を行います。

■主な事業

- 津和野簡易水道施設測量設計業務委託
業務場所：津和野町鷺原、笹山地内
業務委託予定時期：6月初旬～2月下旬
- 津和野簡易水道瀬戸浄水場紫外線処理施設整備工事
工事場所：津和野町鷺原地内
工事期間：7月初旬～1月下旬
- 津和野簡易水道鳥井地区配水管布設工事
工事場所：津和野町高峯地内
工事期間：6月中旬～10月下旬
- 津和野簡易水道西谷区配水管布設工事
工事場所：津和野町邑輝地内
工事期間：10月初旬～1月下旬

財源

国の補助金	7,227万円
町の負担金	369万円
町の借金	1億5,740万円
加入者負担金	70万円

簡易水道事業運営経費

1,260万円

(担当：環境生活課 上水道係)

簡易水道事業を運営するために必要な経費です。事業に必要な事務経費や水道料金の消費税納税額などが含まれます。

■主な経費

水道事業事務経費	830万円
消費税納税額	430万円

財源

水道料	1,260万円
-----	---------

I ふるさとの自然を愛し住みよい環境をつくるまちづくり

9 地籍調査

地籍調査事業

1億2,872万円

(担当:建設課 地籍調査係)

地籍調査を進めるために調査や測量委託等に支出します。

■主な経費

測量業務委託料（富田・柳村・長福・豊稼地区）	7,442万円
ミニ国事業測量業務委託料（日原工区）	887万円
一筆地調査委託料（相撲ヶ原・富田・豊稼地区）	2,426万円
ミニ刻事業一筆地調査委託料（日原工区）	656万円
境界伐開業務委託料（相撲ヶ原・富田・豊稼地区）	282万円
誤謬訂正委託料	10万円
その他諸費用	1,169万円

財源

国県の補助金	9,969万円
町の負担額	2,903万円